

2 議 題

(1) 会長、副会長の選任について

あま市甚目寺老人福祉センター運営審議会委員名簿

(任期: 令和3年 4月1日 から 令和5年 3月31日 まで)

職	名	氏 名	備考
あま市社会福祉協議会	会 長	服 部 章 平	
あま市老人クラブ連合会	会 長	宮 治 正 三	
あま市甚目寺地区 民生委員児童委員協議会	会 長	井 村 な を 子	
あ ま 市 栄 区	区 長	橋 本 満 優 禧	
あ ま 市 民 病 院	管 理 者	梅 屋 崇	
あま市教育委員会	教 育 長	松 永 裕 和	

【あま市】

あ ま 市 長	村 上 浩 司
---------	---------

(事務局)

企 画 財 政 部 長	中 島 康 晴
人 権 推 進 課 長 兼 甚目寺老人福祉センター所長	小 関 勝
人 権 推 進 課 主 幹 兼 人権ふれあいセンター所長	飯 尾 新 也
人 権 推 進 課 課 長 補 佐	小 出 敏 夫
人 権 推 進 課 係 長	大 崎 有 利 子

(2) 令和2年度 あま市甚目寺老人福祉センター事業実績報告について
ア 教室事業費決算

令和2年度 予算現額 1,052,000円
令和2年度 決算額 467,877円

(円)

予算現額	支出済額	説明	不用額
報償費 1,020,000	436,000	(内訳)	584,000
		ペンを愉しむ 40,000	
		書を愉しむ 40,000	
		押し花教室 50,000	
		和紙ちぎり絵教室 40,000	
		俳句教室 65,000	
		歌謡教室A 78,000	
		歌謡教室B 78,000	
		高齢者健康体操教室 45,000	
需用費 20,000	19,919	(内訳)	81
		教室用消耗品費 19,919	
役務費 12,000	11,958	(内訳)	42
		教室案内郵送料 11,958	
計 1,052,000	467,877		584,123

イ 実施回数と利用人数 令和2年度 : 3,179名 令和元年度 : 5,527名
 開館日数 : 152日 開館日数 : 240日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため令和2年4月1日から6月30日、令和3年1月14日から2月28日まで休館

(ア) 教室事業

内 容	令和2年度				令和元年度			
	定員	申込者数	実施回数	延人数	定員	申込者数	実施回数	延人数
ペンを愉しむ	15名	24名	4回	84名	15名	25名	9回	163名
書を愉しむ	20名	22名	4回	64名	20名	22名	9回	160名
押し花教室	10名	9名	5回	18名	10名	5名	9回	26名
和紙ちぎり絵教室	20名	12名	4回	32名	20名	12名	9回	79名
俳句教室	12名	13名	5回	58名	12名	12名	10回	102名
歌謡教室A	25名	19名	8回	124名	25名	23名	18回	310名
歌謡教室B	25名	11名	8回	41名	25名	22名	18回	261名
高齢者健康体操教室	20名	18名	9回	105名	20名	18名	18回	219名
計		128名	47回	526名		139名	100回	1,320名

○教室申込者 地区別内訳

地区	甚目寺	美和	七宝	計	甚目寺	美和	七宝	計
延人数	105名	16名	7名	128名	121名	11名	7名	139名
実人数	69名	17名	6名	92名	86名	10名	5名	101名

(イ) 浴場・機能訓練室利用状況

内 容	令和2年度		令和元年度	
	開設回数	延人数	開設回数	延人数
浴場開設(月・水・金)	86回	2,543名	130回	3,938名
機能訓練室他		84名		54名
計		2,627名		3,992名

○浴場・機能訓練室利用状況 地区別内訳

地 区	甚目寺	美和	七宝	計	甚目寺	美和	七宝	計
人数	2,618名	6名	3名	2,627名	3,963名	12名	17名	3,992名

(ウ) 図書閲覧

内 容	令和2年度	令和元年度
利用人数	6名	24名
貸出冊数	10冊	31冊
蔵書数	421冊	416冊

(エ) 施設利用状況

内 容	令和2年度		令和元年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
会議室の利用許可	1回	12名	10回	170名

(オ) その他の事業

※新型コロナウイルス感染症対策のため職員のみで実施

内 容	令和2年度		令和元年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
避難訓練	2回	8名	2回	21名

(3) 令和3年度 あま市甚目寺老人福祉センター事業計画(案)について

ア 事業の基本方針

あま市は、「老人憩の家」を始めとする老人福祉施設が充実しているが、その中でも「あま市甚目寺老人福祉センター」は、憩いの場を提供するだけでなく、開設当初より事業の要として、老人の教養文化の向上に携わってきた。

高齢化社会を迎えた近年、老人の学習意欲は高まる一方である。あま市甚目寺老人福祉センターでは、そうした要望に応えるべく、活動の場、発表の場を提供し、健康で明るい長寿社会の実現に向けて、事業の展開を図る。

(ア) 集いの教室

老人が、手軽に楽しむことのできる教室を開講する。

受講希望者の多い歌謡教室について、今までは二部制を取り入れていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため密を避け、二部制を取りやめ、新たに写真教室を開講する。

開講教室	定員	回数
ペンを愉しむ	15名	10回開講
書を愉しむ	20名	10回開講
押し花教室	10名	10回開講
和紙ちぎり絵教室	20名	10回開講
俳句教室	12名	10回開講
歌謡教室	24名	20回開講
高齢者健康体操教室	20名	20回開講
写真教室	24名	10回開講

イ 教室事業費予算

令和3年度 予算額

1,022,000円

(円)

	本年度	前年度	比較	説明
報償費	990,000	1,020,000	△ 30,000	(内訳)
				ペンを愉しむ 100,000
				書を愉しむ 100,000
				押し花教室 100,000
				和紙ちぎり絵教室 100,000
				俳句教室 130,000
				歌謡教室 260,000
				高齢者健康体操教室 100,000
				写真教室 100,000
需用費	20,000	20,000	0	(内訳)
				教室用消耗品費 20,000
役務費	12,000	12,000	0	(内訳)
				教室案内郵送料 12,000
計	1,022,000	1,052,000	△ 30,000	